



砂浜のキャンバスに描こう！



砂浜に描くことで、感性を育てる

波や海風の音を聞きながら、広い砂浜に漂着物で描くプログラムです。海環境に刺激されながら描くことで、感性を育てることができます。幼児でも楽しめるでしょう。

対象 幼児～小学生
場所 砂浜
時間 1時間

プログラムの前に…

1. 用意するもの

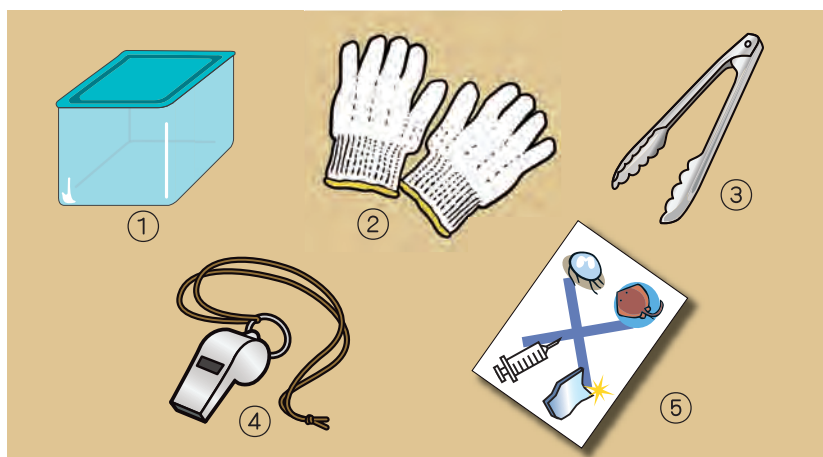
参加者(人数分)

- ①袋や容器
漂着物の収集用
- ②軍手
- ③トンブ

スタッフ

- ④笛や鈴
参加者の集合時に使用
- ⑤解説用品
写真など内容に応じて

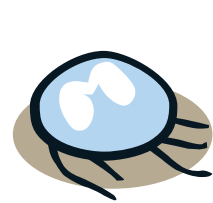
※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



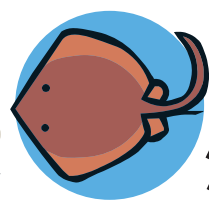
2. 事前の準備

危険を予測しよう

- ・海には危険な物や生物がたくさんあります。
- 現場の状況を把握し、危険を避けましょう。



死んだクラゲも毒針が！



アカエイ



注射器



ガラス



投棄されたガスボンベ

範囲を決めよう

- ・実施範囲の確認は必ず行いましょう。
- ・参加者の行動を把握できるように安全管理担当者置き、参加者が夢中になってもはぐれないように注意しましょう。

プログラムの本番！

1. 参加者にルールを伝えよう！（約10分）

参加者がそろい挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。実物や写真を使って危険物を説明すると、参加者にも伝わりやすくなります。

2. 素材を集めよう！（約20分）

いよいよ漂着物拾いの開始です。今回のテーマを発表し、参加者はお題にあった素材を集めます。スタッフは危険物に気を配りながら参加者のサポートをします。安全管理担当者は参加者の行動把握に努めて、はぐれたりする参加者がいないように注意します。早く集め終わった参加者がいれば、先に進めてもかまいません。

3. 漂着物で描こう！（約30分）

①自分のキャンバスに描こう！

集合して今回の画のテーマを再び共有した後、適度に間隔を空けて自分の作業する範囲を決めましょう。範囲を決めたら、自分のキャンバスのゾーンを流木などで囲い、中に漂着物を置きながら描きます。スタッフは参加者に声をかけながら、再び素材集めに行く人がいれば時間内に戻ってくるように気を配ってください。終了の5分前には予鈴をしましょう。



②鑑賞会を楽しもう！

絵が完成したら、みんなで作品を鑑賞します。絵の工夫や感じたことなどを共有しましょう。それぞれの感性や発見が絵に隠れているのでスタッフはそれらを見つけてあげてください。



ココがポイント

絵のテーマの決め方

絵のテーマは対象や環境にあったものを選びましょう。幼児ならば表現のしやすい「海の生物」。小学校中学年以上であれば「海の思い出」や「海中の世界」など自分で考えたり想像しながら表現できるようなテーマで実施すると、より魅力的な作品が生まれるかもしれません。

大作を作ろう！

プログラムでは各個人で作品を作りますが、実施後にそれぞれのキャンバスの枠を外し、繋げることでより魅力的なプログラムにすることができます。参加者の一体感を出したり、海の広がり表現することができるかもしれません。

